【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】平成17年5月26日(2005.5.26)

【公開番号】特開2004-71320(P2004-71320A)
【公開日】平成16年3月4日(2004.3.4)
【年通号数】公開・登録公報2004-009
【出願番号】特願2002-228208(P2002-228208)
【国際特許分類第７版】
　Ｈ０５Ｂ　 6/12
　Ｆ２４Ｃ　15/10
【ＦＩ】
　Ｈ０５Ｂ　 6/12　　３０５
　Ｆ２４Ｃ　15/10　　Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成16年7月26日(2004.7.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】請求項１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１】
上面に開口部を有する本体ケースと、該本体ケース内で開口位置に配設された複数の加熱用コイルと、該本体ケースの上面に配設される平板状の天板とを備えてなる加熱調理器において、
前記本体ケースに前記開口部を覆うように前記天板の外周縁を取付手段により着脱自在に取り付けたことを特徴とする加熱調理器。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
【課題を解決するための手段】
本発明の請求項１に係る加熱調理器は、上面に開口部を有する本体ケースと、該本体ケース内で開口位置に配設された複数の加熱用コイルと、該本体ケースの上面に配設される平板状の天板とを備えてなる加熱調理器において、前記本体ケースに前記開口部を覆うように前記天板の外周縁を取付手段により着脱自在に取り付けたものである。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００５２】
【発明の効果】
以上のように本発明の請求項１によれば、上面に開口部を有する本体ケースに該開口部を覆うように平板状の天板の外周縁を取付手段により着脱自在に取り付けるようにしたので、天板にヒビや割れが生じて天板を交換する場合に、枠体に天板の外周縁を着脱自在に取り付けている取付手段による取り付けを解除することにより、簡単に天板と本体ケース

とを分離することができるため、天板単体の交換を容易に行え、異材質の部品を分離するリサイクル処理も容易に行うことができるという効果がある。